

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	胃癌 Trastuzumab Deruxtecan療法	
疾患名	胃癌	
診療科名	消化器内科	
登録医師名	豊川 達也	
適応	HER2陽性の胃癌の三次治療以降	

臨床区分
<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療
<input type="checkbox"/> 単施設自主研究
<input type="checkbox"/> 他施設自主研究
<input type="checkbox"/> 市販後臨床研究
<input checked="" type="checkbox"/> 治験

抗癌剤適応分類
<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法
<input type="checkbox"/> 術後化学療法
<input type="checkbox"/> 術前化学療法
<input type="checkbox"/> 局所療法
<input type="checkbox"/> その他

登録日	2021年4月23日
1クール期間	21日
実施回数	/回

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日														注意コメント
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	day21	
1	5%糖液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること		
2	5%糖液	100	mL	点滴静注	メイン	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	パロプセトロン静注0.75mg	1	管																		
	デキササード注射液 6.6mg	1.5	管																		
3	5%糖液	100	mL	点滴静注	メイン	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1) 初回投与の忍容性があれば、2回目以降投与時間30minまで短縮可能。 2) インラインフィルターを使用すること。 3) ボトルを遮光して投与すること。 4) 生食との混合は行わないこと。 5) 調製後25℃以下で4時間または2~8℃で24時間以内に投与を完了すること。 6) エンハーツ1Vあたり5mlの注射用水で溶解する。注射用水の量は医師、薬剤師で適量に修正すること。		
	エンハーツ点滴静注用	6.4	mg/kg																		
	注射用水	20	mL																		
4																					

備考欄

副作用として重篤な間質性肺炎が発現することがあるので、投与開始前に必ず胸部CT検査、胸部X線検査、動脈血酸素飽和度(SpO2)検査及び問診を行うこと。  
定期的に関質性肺炎のスクリーニングを行うこと。  
項目: 臨床症状(呼吸状態、咳および発熱の有無)、SPO2、胸部X線、胸部CT、血清マーカー(KL-6,SP-D)等を定期的に確認すること。

文献

国際共同第II相試験 DESTINY-Gastric01試験

減量・中止基準

--